SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

IV 海外学生派遣
(年次報告(平成24年度後期・25年度前期))

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-04-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子, 松田, 紀子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00007700

Ⅳ　海外学生派遣

熊井　浩子／松田　紀子

国際交流センターでは、在校生の海外留学を推進するため、『静岡大学からの海外留学』（海外留学に関するガイドブック）を作成・配布するとともに、平成25年度から4月の新入生ガイダンスの際にセンターニュース及び「静大からの海外留学」（海外留学パンフレット）を配布することになった。併せて、過去の留学プログラムやイベント等の参加者のメーリングリストや電子掲示板での募集情報やイベントの紹介等も行っている。この新入生への広報が功を奏し、25年度前期には海外留学フェア、TOEFL勉強会等や、夏季短期留学などに1年生の参加が増加した。

派遣に関する主なイベントとしては、海外留学フェア（留学説明会）、夏季短期留学説明会やTOEFL説明会・勉強会などを開催し、留学についての情報提供や語学学習のサポートを行っている。さらに、国際交流課（静岡キャンパス・共通教育Ａ棟4階）及び国際交流センター資料室（浜松キャンパス・合同棟1号館3階）に、各国別の最新の資料を提供する棚を設置し、派遣留学やTOEFLに関する情報提供を行うほか、センター及び課で留学相談も適宜実施している。今年度からは、25年度前期からは、年2回の海外留学フェア、前期のILUNO説明会に加え、留学先・プログラム別の海外留学miniフェアも開催し、きめ細かな対応を行っている。

また、交換留学に関しては、留学前指導にアカデミックイングリッシュ（全2回）を実施し、英語力の面でのサポートも強化した。

主な派遣プログラム及び活動は以下の通りである。

１．大学間協定に基づく交換留学

平成25年度には以下の8大学19名の学生が大学間協定に基づく交換留学生として選考され、25年度8～10月に既に留学を開始している。また、昨年度派遣に向けて、留学生・外国籍学生の海外派遣も認める申し合わせを整備したが、25年度派遣の学生のうち、カナダ・アルバータ大学派遣の1名は上記改革にともなって派遣が実現した留学生である。括弧内は、当該学生の所属学部を表す。なお、派遣学生19名中、募集条件を満たした17名の学生が、JASSOの留学生交流支援制度（短期派遣）の助成（月額平均7万円）を受けることができた。ただし、今回は韓国の協定校への派遣学生ゼロという残念な結果となってしまった。

アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校　3名（人文社会科学部、教育学部、理学研究科各1名）
カナダ・アルバータ大学　1名（人文社会科学部1名）
フランス・ロレーヌ大学　3名（人文社会科学部2名、情報学部1名）
ドイツ・ヴッパタール大学　2名（教育学部・情報学部各1名）
スロバキア・コメニウス大学　4名（人文社会科学部・教育学部各2名）
チェコ・マサリク大学　2名（人文社会科学部・教育学部各1名）

ブルガリア・ソフィア大学　１名（人文社会科学部）
中国：浙江大学　３名（人文社会科学部３名）

交換留学に関しては、昨年度派遣の学生より、交換留学に関しては以下の３点を含む大幅な改革を行うとともに、選考後には派遣前に全３回の留学前ガイダンスを実施し、留学前の準備や危機管理等に関する講義、留学経験者や協定校からの留学生も招いたディスカッション等を行うことにより、学生自身が主体的に準備に取り組めるような環境を整備したが、改革後の１期生にあたる24年度派遣学生は大きな成果を上げて無事帰国し、留学説明会等のイベントにも積極的に参加している。

- 語学能力基準の設定
- 希望調書の改定
- 選考のための面接を導入

２．ILUNO（Intensive Language Program at the University of Nebraska at Omaha: ネブラスカ大学オマハ校集中語学プログラム）

平成25年度アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校における集中語学プログラムにILUNOに14名（教育学部５名、工学部各４名、人文社会科学部３名・農学部１名・理学部１名）が参加した。そのうち、７名は協定に基づく96週分の授業料免除枠での参加である。なお、２月18日に渡航前ガイダンスを実施した。

また、平成26年度募集に先立ち、７月25日にはILUNO説明会を実施し、情報提供に努めた。

３．平成25年度夏季短期留学

８月の１－２週目から３週間、アメリカ・ネブラスカ大学オマハ校（参加者16名）、カナダ・アルバータ大学（参加者33名）、韓国・朝鮮大学校（参加者５名）の３つの夏季短期留学が実施された。センターでは夏季短期留学ガイドブック及び引率業務の手引きの改訂を行うとともに、参加者を対象に５月30日、６月20日及び７月４日に３回の説明会を実施した。説明会では、スケジュールや手続き・準備等の説明及び留学経験者からのアドバイスや海外安全のための知識等についての紹介を行った。７月25日には静岡キャンパスで結団式を実施した。また、アルバータ大学については、６月28日にアルバータ大学関係者が来訪して説明会を実施した。

夏季短期留学参加者は語学研修や文化体験、ホームステイ、旅行など盛りだくさんのプログラムを満喫して無事帰国した。

なお、ネブラスカ大学及びアルバータ大学の夏季短期留学については、全学教育科目の英語科目「英語海外研修Ａ」「英語海外研修Ｂ」として単位化され、24年度以降入学者はこの科目を取得することができた。ネブラスカ大学・アルバータ大学参加者のうちの23年度以前の入学者および韓国サマースクール参加者については、従来どおり各自の申請にもとづき、全学教育科目の英語科目・韓国語科目（２単位）を認定した。

４．嶺南大学校日本姉妹大学協定短期文化研修プログラム

韓国・嶺南大学校において、平成25年９月８日㈰から９月14日㈯まで短期招聘プログラムが実施され、学生５名（人文社会科学部、教育学部、情報学部）が参加し、他の協定大学学生とともに語学研修や文化体験、旅行等、充実した研修を行うことができた。

５．海外留学フェア

平成24年度後期は10月18日㈭に静岡キャンパス、10月25日㈭に浜松キャンパスで、25年度前期は４月18日㈭に浜松キャンパス、４月25日㈭に静岡キャンパスで実施した。前後期ともに第1部では全体的な説明及び留学経験者によるパネルディスカッションを行い、第2部ではプログラム・協定校ごとにブースを開設し、留学生を交えて個別相談を行った。参加者は24年度後期静岡キャンパス62名、浜松キャンパスは17名、25年度前期には、前述の通り１年生の参加が増え、静岡キャンパス85名、浜松キャンパスでは23名であった。

また、留学miniフェアは、６月25日・６月26日・７月24日の３回行われ、参加者はそれぞれ、３名・５名・８名であった。

６．TOEFL説明会及びTOEFL勉強会・TOEFL ITP（団体受験）

海外派遣推進の一環として25年度前期には５月９日に「TOEFL日本事務局」国際教育交換協議会CIEEの担当者を招いてTOEFL説明会を開催するとともに、６月14日、６月27日（静岡キャンパス）、６月６日（浜松キャンパス）（すべて木）に大学教育センター英語ネイティブ教員の支援を受けて勉強会を実施した。さらに、ITP（TOEFL団体受験）を24年度10月11日㈭に静岡キャンパス、10月13日㈯に浜松キャンパスで、25年度前期には７月11日㈭に静岡キャンパス、７月13日㈯に浜松キャンパスでそれぞれ実施した。なお、このITPのスコアは当面、アメリカ・ネブラスカ大学交換留学の際の正式なTOEFLのスコアとして認定されている。

７．VSCP（Visiting Students Certificate Program）説明会実施

カナダ・アルバータ大学で行われている語学研修と専門科目の単位取得を組み合わせたプログラムであるVSCPの説明会がアルバータ大学Gretchen Phillips氏を迎えて平成24年11月29日㈭に開催され、８名の学生が参加した。

25年度前期派遣留学者は８名（25年度５月開始３名、７月開始１名、９月開始３名、１月開始１名）である。

８．刊行物

- 学生交流報告書
- 「静岡大学からの海外留学」（留学ガイドブック）
- 「静大からの海外留学」（留学パンフレット）
- 夏季短期留学ガイドブック